

地域力を活かした取り組みを進めます



NPO・区民活動フォーラム（平成25年1月）

5年後のめざす姿

○自治会・町会*や団体・NPO*、事業所*、ボランティアなど、大田区で活躍する様々な人たち・団体が、それぞれの得意分野を活かし、連携・協働*1しながら地域を盛り立てています。

これまでの成果

- 前期計画から新規事業として始めた「地域力応援基金*2助成事業」や「地域活性化事業」等の各種助成支援施策により、自治会・町会*を基本とした連携・協働*の取り組みが広がりました。
- 平成20年度に団体同士が連携して活動を展開した事業は79でしたが、24年度にその数は年間延べ数で347に増え、協働*の輪が大きく広がっています。
- 地域力推進地区委員会や「18色の地域力応援プログラム*3」をきっかけに、情報の共有が進みました。地域力推進地区委員会では独自に分科会を設け、その地域の課題解決に取り組む活動が活発になりました。安全安心なまちづくり、防災・防犯、地域の活性化、環境美化、青少年健全育成、文化振興などにつながる体制が整備されてきています。こうした取り組みを地域ごとにまとめ、地域で共有することで、区内全体に地域主体の取り組みが広がっています。

現状と課題

- 区内には217の自治会・町会*があり、その加入率（会員となっている世帯数が全世帯数に占める割合）は、平成25年4月現在で約75%と他の区や市と比較し、高い水準にあります。また、区内には各種の団体、NPO*が451団体あり、多彩な活動を広げています。
- 団体間の連携の輪は広がっていますが、社会情勢の変化は大きく、少子高齢化が進み、日々の育児や高齢者介護支援のほか、防災など個人や行政だけでは解決の困難な問題が増えています。地域力を活かし、「参加し、担う」区民を増やし、一人ひとりの関わりや団体間の横の連携をさらに促進することによって、諸課題を解決していく必要性が高くなっています。
- 地域の課題解決に貢献し、活躍している団体の中には、活動拠点や資金不足といった固有の問題があるほか、相互に連携し協力し合うための情報の共有や仕組みづくりが未だ十分ではありません。地域力を活かした取り組みをめざすために、こうした各団体への支援を強化していくことが求められています。

*1 協働
区民をはじめ自治会・町会、団体・NPO、事業者及び区が共通の目的を持って、相互に自主性を尊重しつつ、それぞれが持つ知識、技術などの資源を提供し合い、協力して取り組むこと。

*2 地域力応援基金
地域福祉活動振興資金積立基金及び福祉事業積立基金の一部と、大田区区民活動積立基金を統合して基金を創設し、区民活動の支援を行うもの。

*3 18色の地域力応援プログラム
各特別出張所における地域力向上への取り組み事例を公表するとともに他地域へも周知を行い、各地域での課題解決の参考事例や新たな取り組みにつなげる事業。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
自治会・町会*や団体・NPO*が、区の取り組みにより他の団体等と連携して実施した事業数(事業)	—	100事業	93事業 (平成24年度)	150事業
自治会・町会*への加入率(%)	75.4% (平成20年度)	—	74.6% (平成25年度)	76%

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

地域力を活かした取り組みを進めます

1 地域活動団体への支援

- 協働*推進講師派遣事業
- 地域力応援基金*助成事業
- 地域活性化事業への支援
- 自治会・町会*会館の整備助成
- 自治会・町会*活動への支援
 - 区民活動支援施設の運営
 - ↳ 区民活動団体やNPO*などの連携・協働*へのコーディネート*、アドバイス等総合的な支援

2 地域ネットワークの強化

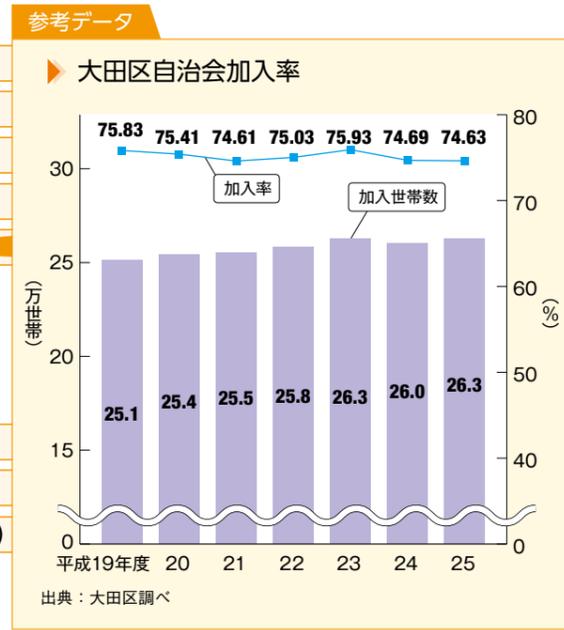
- 18色の特色ある地域づくりの推進
- 地域力推進会議・地区委員会の充実
- 区民活動情報サイト*の整備・活用(再掲3-1-1)
 - 次世代に地域を担う子どもたちの活動支援
 - ↳ 子どもガーデンパーティー*4、ジュニアリーダー講習会、学生ボランティアの活動紹介など

3 地域力を活用した施設運営

- ころぼ大森*5・大田文化の森*6の運営
 - ↳ 区民で構成される団体による指定管理、事業の企画・運営の実施

4 区民施設の有効活用

- 地域資源*としての区民センター等機能の充実
 - ↳ 地域の資源を活用した自主事業等を充実させ、より地域ニーズ*に即した地域施設へ移行



施策の方向性と主な事業

1 地域活動団体への支援

区は、自治会・町会*、団体、NPO*などの地域活動団体やこれから公益性の高い活動を始めようとする団体の活動を支援します。団体の自立的、自主的な活動に対し相談、助言、資金などを公益性など一定の条件の下に支援し、一層の活性化をめざします。

主な事業

協働*推進講師派遣事業

自治会・町会*やNPO*など区民活動団体が他種の団体と連携・協働*するきっかけをつくるため、新たな協働*により実施する事業に対し講師を派遣し、引き続き地域の協働*事業を支援します。

講師派遣の進捗表 (平成26年度～31年度)

地域力応援基金助成事業

福祉、環境、まちづくりなど区民を対象として公益性が認められ、広く社会貢献につながる活動を行う区民活動団体に対し、助成します。

地域力応援基金助成事業の進捗表 (平成26年度～31年度)

地域活性化事業への支援

自治会・町会*が、PTA・民生委員*・青少年対策地区委員など、他の区民活動団体やNPO*と連携して地域力を高める事業に対して助成します。

地域活性化事業への支援の進捗表 (平成26年度～31年度)

自治会・町会*会館の整備助成

自治会・町会*が地域住民の福祉の増進と自主的活動を強化するために設置する自治会・町会*会館の新築・改築、修繕などに要する経費について、補助率・限度額を定め、助成します。

自治会・町会*会館の整備助成の進捗表 (平成26年度～31年度)

自治会・町会*活動への支援

地域活動を担う自治会・町会*の組織基盤維持のため、自治会・町会*加入促進チラシの作成やイベントを通して加入啓発します。転入者をはじめ未加入のマンション等集合住宅などに対して、自治会・町会*が行う加入促進活動を支援します。

自治会・町会*活動への支援の進捗表 (平成26年度～31年度)

大田区自治会・町会一覧

(平成25年9月)

大田区自治会・町会一覧表 (大森東地区、池上地区、大森西地区、馬込地区、新井宿地区、久が原地区、雪谷地区、羽田地区、矢口地区、安方北町会など)

2 地域ネットワークの強化

防犯・防災、福祉、子育てなど多様な地域課題を地域の力で解決する取り組みを進めます。また、地域の魅力をまちづくりに取り入れるため、地域の様々な団体のネットワークを強め、地域の力を最大限に発揮できる取り組みを支援します。

主な事業

18色の特色ある地域づくりの推進

18地域での地域力が発揮できる取り組みを推進し、地域の主体的な取り組みをまとめ、特色ある地域づくりを進めます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
18色の地域力応援事業	→					継続
18色の緑づくり	→					検証
地域の特色を活かした国際都市事業実施の支援(再掲)	→					継続



大田区より東日本大震災の被災地へ思いを込めて。
子どもガーデンパーティーによるハートマークビューイング（平成23年5月8日）

地域力推進会議・地区委員会の充実

地域力推進会議では、多様な委員の発言の場を設け、地域との連携に努め、地域活性化を支援します。

地域力推進地区委員会の分科会等の充実に努め、地域の力で地域課題を解決できる取り組みを支援します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
地域力推進会議の充実	→					継続
地域力地区委員会の充実	→					継続

区民活動情報サイト*の整備・活用 (再掲3-1-1)

3 地域力を活用した施設運営

地域の活性化と魅力ある地域づくりには、地域に住み、学び、働いている一人ひとりの区民が活動できる環境づくりが重要です。環境づくりの一つとして、区民活動支援施設を設けるとともに、その運営を地域のNPO*などに委託して行うことで地域力の活用を図ります。

4 区民施設の有効活用

区民センターなどの区民施設は、主として集会などのための貸し施設ですが、こうした機能にとどまることなく、各種の講座、講演、まつりといった自主事業などを充実させ、区民施設を「地域の資源」として積極的に活用します。



地域の力！田んぼづくりで自然の大切さを伝える